2026年7月14日

心機能低下を伴う心房細動に対してカテーテルアブレーション を受け、心臓交感神経機能を評価する心臓核医学検査を受けられた 患者様へ

当院では、心機能低下を合併した心房細動に対するカテーテルアブレーションおよび心臓交感神経機能を評価する心臓核医学検査にかかわる臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」と思われた場合は遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合でも、今後の診療に不利益が生じることはありません。

【対象】
2021年7月から2025年7月までに当院で心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けられた患者様のうち、治療前の左室駆出率が40%以下であり、治療前に心臓 ^{123}I-MIBGシンチグラフィを受け、治療前および治療約6か月後に心エコー図検査で心機能評価が行われた方

【研究課題名】
左室収縮機能障害患者における心房細動アブレーション後の左室駆出率正常化と術前心臓交感神経機能との関連に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】
群馬県立心臓血管センター　循環器内科第二部長　中村紘規

【研究の目的】
心房細動は心機能低下の原因または増悪因子となることがあり、心房細動に対するカテーテルアブレーションにより心機能が改善する場合があります。一方で、すべての患者様で心機能が正常化するわけではなく、どのような患者様で心機能が回復しやすいかを明らかにすることは重要です。心臓 ^{123}I-MIBGシンチ

グラフィは、心臓の交感神経機能を評価する検査です。本研究では、心房細動アブレーション前に行われた心臓 ^{123}I-MIBG シンチグラフィの結果と、アブレーション後約 6 か月時点での心機能回復との関連を調べることを目的としています。

【利用するカルテ情報、資料】
年齢、性別、身長、体重、病歴、既往歴、心不全による入院歴、内服薬、血液検査、心電図、心エコー図検査、CT 検査または MRI 検査、心臓 ^{123}I-MIBG シンチグラフィの結果、カテーテルアブレーションの術中データ、術後の外来経過、心房性不整脈再発の有無、心不全による入院の有無など、通常診療で得られた情報を使用します。本研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。

【研究期間】
研究機関の長による実施許可日から 2027 年 3 月まで

【個人情報の取り扱い】
登録されたデータからは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号などの個人を直接特定できる情報を削除し、新たにつけた番号にもとづいて解析を行います。研究の結果を学会や学術雑誌に公表する場合も、個人が特定できないような形で使用いたします。研究に用いる情報は、研究責任者の管理下で厳重に保管し、研究関係者以外が閲覧できないよう管理します。

【研究への参加を希望されない場合】
この研究にご自身の情報を使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。その場合、可能な限り速やかに該当する情報を研究対象から除外し、本研究には使用しません。参加を希望されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

【問い合わせ先】
群馬県立心臓血管センター　循環器内科
　担当医師　中村紘規　電話　027-269-7455（代表）